

第1号議案

令和7年度事業報告および決算に関する件

令和7年度事業報告(案)

I 会務報告

1 皇室関係

- (1) 第64回全国林業経営推奨行事賞状伝達贈呈式への秋篠宮皇嗣殿下のお成りについては、1月30日、お成り日を11月6日とする旨連絡があり、10月20日、宮内庁長官あてにご臨席依頼書を発出した。
- (2) 10月14日、賞状伝達贈呈式に先立ち、沢田会長が秋篠宮家宮邸において皇嗣殿下に受賞者の経営内容についてご進講した（仁多見副会長、松本常務同席）。
- (3) 11月6日、千代田区の飯野ビル4階イイノホールにおいて、皇嗣殿下のご臨席を仰ぎ、賞状伝達贈呈式を挙行了した。
- (4) 11月10日、秋篠宮家宮邸に沢田会長、仁多見副会長および松本常務が皇嗣殿下お成りへの御礼記帳に伺った。
- (5) 11月30日、赤坂東邸で行われた皇嗣殿下誕生茶会に沢田会長、仁多見、吉川および織田副会長、田中名誉会長並びに松本常務の6名が参加した。
- (6) 令和8年11月初旬に挙行する第65回全国林業経営推奨行事賞状伝達贈呈式への皇嗣殿下のお成りについては、12月22日、宮務官長あてにお成り願いを発出し、2月5日、お成り日の連絡があった。
- (7) 令和8年1月7日、秋篠宮家宮邸に沢田会長、仁多見副会長および松本常務が新春のご記帳に伺った。

2 会議の開催

- (1) 5月9日、港区の航空会館5階会議室で第1回理事会を開催し、「令和6年度事業報告および決算に関する件」「定時総会提出議案に関する件」「参与の委嘱に関する件」「新規会員の承認に関する件」および「公益充実資金の取崩に関する件」の5議案を審議して原案どおり承認された。次に、「業務執行理事の職務執行状況」その他について報告した。
- (2) 5月28日、航空会館の7階大ホールで定時総会を開催した。会場出席した52名と議決権行使書提出者または委任状提出者429名で481名の出席となり、同日現在の会員総数753名の過半数を占め、「令和6年度事業報告および決算に関する件」および「役員を選任に関する件」の2議案を審議して原案どおり承認された。次に、「令和7年度事業計画および予算に関する件」並びに「参与の委嘱に関する件」について報告した。

なお、総会に先立ち参与会議を開催し、林業経営「創意工夫」表彰行事で優秀賞を受賞した山形県の大江町光林会會田幸子氏から「スマホを持って所有林

を探しに行こう（研修会の開催等による所有山林の相続登記・森林整備の推進）」について話題提供があり、それを踏まえて意見交換を行った。

- (3) 5月28日、航空会館の5階会議室で第2回理事会を開催し、「業務執行理事の選定に関する件」を審議して、会長に沢田治雄理事、常勤の副会長に仁多見俊夫理事、非常勤の副会長に吉川重幹理事および織田央理事並びに常務理事に松本芳樹理事が選任された。
- (4) 10月29日、書面による第3回臨時理事会を開催し、「定款第49条第3項に規定する重要な職員としての事務局長の設置並びに当該事務局長への小合信也氏の任用および松本常務理事の報酬月額の設定に関する件」を審議し、原案どおり承認された。
- (5) 令和8年3月27日、航空会館の5階会議室で第4回理事会を開催し、「定款および会費規程の改正に関する件」「特定資産の取崩および公益充実資金の積立に関する件」「令和8年度事業計画および予算に関する件」「令和8年度定時総会招集等に関する件」および「令和8年度第1回理事会開催に関する件」の5議案を審議して原案どおり承認された。次に、「業務執行理事の職務執行状況」、その他職員の任免等について報告した。
- (6) このほか、8月を除く毎月、常務役員会を開催し、会務運営の重要事項について協議した。

3 会員の関係

令和8年3月末日現在における会員数は、正会員730名、特別会員33名、計763名となっている（令和7年3月末日比で9名の減少）。

4 公益法人関係

- (1) 内閣府公益認定等委員会に対し、令和7年6月23日に令和6年度事業および決算を報告するとともに、役員変更の届け出を行った。
- (2) 令和8年3月29日、内閣府公益認定等委員会に対し、令和8年度事業計画書および収支予算書を報告した。

II 事業の実施

森林・林業を取り巻く諸情勢を踏まえつつ、1 普及啓発事業、2 調査研究事業、3 山林事業、4 林業文献センター事業の4つの公益事業と、収益事業に取り組んだ。

1 普及啓発事業（公一1）

- (1) 森林・林業に関する指導、奨励および普及

- ① 5月10日、「みどりの感謝祭式典行事」（イイノホール）に永田会長が出席した。
- ② 5月24日、「第53回全国林業後継者大会」（埼玉県飯能市）に永田会長が出席し、激励の言葉を述べるとともに、翌5月25日、「第75回全国植

樹祭」(埼玉県秩父市)に出席した。

- ③ 6月3日、長野県上松町の木曾谷国有林において執り行われた第63回神宮式年遷宮で御神体をお納めする御器に用いる御用木を正式に伐り始める御杣始祭(みそまはじめさい)に沢田会長が参列した。
- ④ 日本椎茸農業協同組合連合会が主催する全国乾椎茸品評会に協賛するとともに、8月6日の表彰式(東京都新宿区)に来賓として沢田会長が出席し、大日本山林会会長賞を授与した。
- ⑤ 10月5日、仁多見副会長が「第48回全国育樹祭」式典行事(宮城県利府町)に出席するとともに、翌6日、関連行事「みやぎ2025森林・林業・環境機械展示実演会」(宮城県石巻市)を視察し、出展企業・団体と情報交換を行った。
- ⑥ 令和8年2月16日、埼玉県知事公館で開催された本多静六賞選考委員会に選考委員として永田名誉会長が出席し、3月13日、県庁で知事に選考結果を報告した。
- ⑦ 関係団体等の開催する様々なシンポジウム等に会場出席やオンライン出席で参加し、情報の収集・交換に努めた。
- ⑧ 「緑の募金支援団体」としての募金協力、関係団体への活動支援などを通じ、森林・林業の奨励・普及に努めた。

(2) 森林・林業に関する講習、研修および講演会の開催

- ① 意欲と能力に優れた林業後継者を養成し、地域間、世代間の連携を密にしながら今後の我が国林業を支える人材ネットワークを形成するため、関係団体が連携・協力して、令和6～8年度までの3年間にわたり21世紀的林業を担う林業後継者養成セミナーを開催することとしており、令和7年度は、9月4～6日に43名の後継者の参加を得て岩手県で、2月5～7日に44名の参加を得て三重県で養成セミナーを開催した。
- ② 東京農業大学において、原参事が「現代社会と経済」、杉野参事が「農と伝統文化」の講義を実施した。

(3) 海外への林業振興に関する技術援助

海外の法人会員等に対する会誌『山林』の送付等を通じ、海外への情報提供に努めた。

(4) 森林・林業教育の振興および研究の助成

- ① 令和8年3月16～19日に筑波大学およびつくば国際会議場で開催された第137回日本森林学会大会の高校生ポスター発表に協賛し、18日に国際会議場で挙行されたポスター発表の表彰式では、沢田会長が最優秀賞等を受賞した高校生をはじめ参加した28校からの40発表チームの高校生を激励するあいさつをするとともに、各発表校へ記念品として本会発行の「日本の森林と林業―森林学習のための教本―」を1冊ずつ贈呈した。

また、17日には、杉野参事が「森林教育の発展」の研究発表において国土緑化推進機構からの委託で制作した「生物多様性ワークブック」について発表し、児童教育関係者の関心を集めた。

② コロナ禍により令和2年以降開催が途切れている全国林業教育研究会の機能を復活させるため、農林高校の林業教育教員を支援するためのネットワーク構築について関係団体と検討を重ね、こうした問題に関心の高い高校教員の参加を得て準備委員会を立ち上げ、8月に第1回準備委員会および11月に第2回準備委員会を開催して関係者間の情報交換・共有を図った。

(5) 森林・林業に関する発明、改良の奨励

9月1日から1月31日まで令和7年度林業経営「創意工夫」表彰行事の募集を行い、3月11日、審査委員会を開催して応募のあった4件を審査した結果、次のとおり優秀賞および奨励賞を決定した。

優秀賞 ○ 富山県中島春樹氏「高齢コナラ林を伐採利用 実生更新してコナラ林を再生させる施業法」

奨励賞 ○ 福島県会津里山森林資源育成研究会「会津桐の再評価 新しいタイプの苗木を活用した伝統的桐資源の造成と里山林整備への挑戦」

○ 長野県(有)矢守産業「伐木競技への取組みをサポート 安全意識と技術の向上を目指す経営の工夫」

○ 静岡県片平有信氏「自作の棚で機能的に軽バンの道具収納アイデア」

(6) 森林・林業に関する刊行物の発行

① 会誌『山林』を第1691号から第1702号まで発行した。なお、8月を除き年間11回『山林』編集委員会を開催した。

② 前年度に引き続き、会誌『山林』に10月号まで毎月「特集 平成林業逸史」を連載した。また、令和8年1月に一般書籍『平成林業逸史』を刊行し、ホームページ、会誌『山林』等を通じて会員はじめ森林・林業関係者に広く周知を図るとともに、「特集 平成林業逸史」の執筆者に同書籍を1冊ずつ贈呈した。

③ 第64回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事受賞者の経営内容を要約した『選ばれた林業経営』を刊行した。

④ 『「脱・国産材産地」時代の木材産業』『日本の森林と林業』『昭和林業逸史』をはじめとする既刊本の販売に努めた。

(7) 森林・林業功労者の表彰

① 第64回全国林業経営推奨行事については、都道府県から推薦のあった優良林業経営体について、2度にわたる審査委員会および森林管理局による現地審査（大臣賞候補者のみ）を経て、大臣賞8点、長官賞16点、会長賞7点の計31点を決定した。

11月6日、本会総裁秋篠宮皇嗣殿下のご臨席を仰ぎ、賞状伝達贈呈式を挙行了。皇嗣殿下は、記念パーティーにも参加され、沢田会長の先導で受賞者一人ひとりに温かいお声掛けをしていただいた。

② 12月11日、伊勢神宮崇敬会が実施する農事関係功労者顕彰行事において、本会が推薦した岩手県の川又正人参与が林業部門で顕彰された。また、沢田会長が参列し、来賓代表として祝辞を述べた。

2 調査研究事業（公一2）

- (1) 令和6年度の調査研究事業の成果品である「木材製品需要の変動が地域の素材生産に及ぼす影響」の報告書を関係者に配付した。
- (2) 令和7年度調査研究事業の研究課題を公募した結果、林業経済研究所から応募のあった「林業構造改善事業により整備された森林公園の維持管理やバリアフリー化の現状と課題」を採用することとし、同課題に関する調査研究を同研究所に委託し、報告書を作成した。

3 山林事業（公一3）

特段の森林施業は実施しなかったが、7月と12月の山林巡視手当支給時に山林管理人に各所有林および各部分林の近況報告を求めるとともに、2月には沢田会長以下、群馬県の横川（小根山）部分林の現状等について現地調査を行う等、経営する山林の実態把握に努めた。

4 林業文献センター事業（公一4）

- (1) 7月14日、林業文献センター運営委員会を開催し、令和9年度以降の新三会堂ビルでのセンター運営とその準備について説明した後、主にデジタル化済文献のWEB公開方法について意見交換を行い、山林会として志向する公開方法を取りまとめることとなった。その後、令和6年度の事業報告および令和7年度の事業計画を説明して了承を得た。

後日、WEB公開の可能性等について検討した結果、11月26日、運営委員各位に、「WEB公開の可能性も含めて検討したが、WEB公開には他機関との連携、著作権をはじめ課題が山積していることから、当面は貴重文献の原本保存を優先するとともに、センター内のPCで閲覧できる環境を整備することとし、WEB公開はその後の検討課題とする」ことを回答して了承を得た。

- (2) 令和7年度は、自己資金に加え、初めて(公社)国土緑化推進機構が実施する「緑と水の森林ファンド」中央事業から助成を得て、(福)日本キリスト教奉仕団板橋福祉工場に委託して「小林準一郎文庫 No.2」22冊、「島田文庫」384冊、「田中八百八文庫」33冊など書籍計439冊（いずれも合本の冊数）の電子ファイル化を実施した。
- (3) 新三会堂ビルでの書庫の書棚を移動式にした場合の見積もりを専門業者から徴取したところ、移動式だと約650万円になることが判明した。
- (4) 令和8年3月31日現在、「収蔵文献・検索システム」に登録されている文献数は31,972件となっている。

5 収益事業（収一1）

港区赤坂の土地の共同所有者である（公社）大日本農会および（一社）大日本水産会とともに、基本財産である同土地を安全かつ有効に活用し、正味財産増減計算書に基本財産賃貸料として計上した基本財産運用益を上げた。

